

## 参考 地域公共交通に関する用語集

「なるほど!!公共交通の勘どころ」(九州運輸局)を参考に、本計画書に関連する用語説明を記載しています。

---

### 地域公共交通

地域住民の日常生活若しくは社会生活における移動又は観光旅客その他の当該地域を来訪する者の移動のための交通手段として利用される公共交通機関のこと。

### 公共交通空白地域

鉄道やバスなどの公共交通を利用することが困難なエリアのこと。一般的には、鉄道駅から半径 800m～1,500m 程度、バス停から半径 300～500m 程度の範囲からはずれるエリアを公共交通空白地域としている例が多い。

なお、公共交通は運行されているものの、運行頻度が著しく低いエリア等を「公共交通不便地域」などと位置づけているケースもみられる。

### 乗合バス

正式には一般乗合旅客自動車運送事業といい、主に路線を定めて定期に運行する自動車により不特定多数の旅客を乗り合わせて運送する事業のことで、道路運送法による事業の経営許可、運賃・料金の認可・届出等が必要である。乗合バスには、一般の路線バス、定期観光バス、長距離高速バスなどがある。

このほかにも、地方公共団体等が主体的に運行を確保するコミュニティバスや乗合バスとタクシーの中間的な役割を果たす乗合タクシー、予約等に基づいて運行を行うデマンド交通などがあり、過疎化の進行や少子高齢化の進展を受け、地域のニーズに応じて乗合運送の形態が多様化してきている。

### デマンド交通

「デマンド」とは要望のことで、乗客から事前に連絡(予約)を受けて、基本となる路線以外の停留所に立ち寄ったり、運行を開始したりするなど、乗客の要望を運行に反映できる運行形態をいう。

### コミュニティバス

地域の住民の利便向上等のため一定地域内を運行するバスで、車両仕様、運賃、ダイヤ、バス停の位置等を工夫したバスサービス。狭義には、乗合バスによる運行を意味するが、広義には、自家用車による市町村運営有償運送まで含める場合もある。

## 自家用有償旅客運送

地域住民の生活に必要な旅客輸送を確保するために、市町村自らが保有する“白ナンバー”の車両を使用して旅客の運送を行うこと。(市町村運営有償運送)

自家用車有償旅客運送には、その他、要介護者・要支援者等の輸送を NPO 等が行う「福祉有償運送」や、地域住民等の輸送を NPO 等が行う「公共交通空白地有償運送」がある。

なお、自家用有償旅客運送は市町村の住民やその親族、あるいは、登録した会員などを対象として運送を行うものであるが、市町村長が認めた場合は地域外からの来訪者・滞在者や会員以外も利用することが可能である。

## 乗合タクシー

乗合バスのように乗合旅客を運送するタクシーで、車両の乗車定員は 10 人以下となる。定時定路線で運行する形態と、事前に予約を受けて運行するデマンド型等の形態がある。

## ノンステップバス

車椅子やベビーカーなどでも利用しやすいよう、床面を低くして、乗降口の段差（ステップ）をなくしたバス。

## 地域間幹線バス系統

一般的には地域間（複数市町村間）にまたがるバス系統などのことを指すが、狭義では、「地域公共交通確保維持改善事業」の対象となる幹線バスネットワークを示す。

「地域公共交通確保維持改善事業」の中では、計画運行回数や輸送量が一定量を上回り、かつ、経常赤字が見込まれることなどの要件が定められている。

## 地域内フィーダー系統

一般的には幹線（地域間幹線バス系統や鉄道など）と接続し、地域内の移動を支える支線の役割を担うバス・乗合タクシーなどを指すが、狭義では、「地域公共交通確保維持改善事業」の対象となる地域内のバス交通・デマンド交通等を示す。

「地域公共交通確保維持改善事業」の中では、補助対象となる幹線バス交通ネットワークを補完するものであることや、幹線バス交通ネットワーク等へのアクセス機能を有するものであることなどの要件が定められている。

## モビリティ・マネジメント (MM)

一人ひとりのモビリティ（移動）が、社会にも個人にも望ましい方向（例えば、過度な自動車利用から公共交通や自転車等を適切に利用する方向）に自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした取り組み。

## パーク&ライド

都心部等での道路交通混雑を避けるために、都市の郊外部において自動車を駐車し、鉄道・バス等の公共交通機関へ乗り換える手法。

ちなみに、キス&ライド (K&R) は家族などが駅やバスターミナル等まで自家用車で送ることで、サイクル&ライド (C&R) は自転車ですりやバスターミナル等まで来て列車やバスに乗り換えることを言う。